

## バチルス・セレウス由来のキトサナーゼ 8B、組換え型

Cat. No. NATE-1375

Lot. No. (See product label)

## はじめに

 $\square$ 明 キトサナーゼは、部分的に脱アセチル化されたキトサンにおけるN-アセチル-D-グルコサミン

とD-グルコサミン残基の間のβ (1,4) リンケージのエンドヒドロリシスを触媒します。ストレプトマイセス・グリセウス由来のキトサナーゼは、キトサンとカルボキシメチルセルロースの両方を加水分解する能力があります。これは、ムコール目に属する真菌の細胞壁の溶解に使用

されます。いくつかの種類の微生物に存在します。

*別名* キトサナーゼ; EC 3.2.1.132; 51570-20-8; キトサン N-アセチルグルコサミノヒドロラーゼ

製品情報

**種** バチルス・セレウス

由来 E. coli

*形態* 35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM

CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

**EC**番号 EC 3.2.1.132

**CAS**登□番号 51570-20-8

*分子量* 47.8 kDa

**純度** >90% は SDS-PAGE による

濃度 1 mg/mL

*最適pH* 6

*最適温度* 60 °C

**特異性** 可溶性およびコロイド状のキトサン

保管・発送情報

**保存方法** この酵素は常温で出荷されますが、-20°Cで保存する必要があります。